

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当教員	対象年次	学期	曜日・校時	開講期間
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013001	●総合英語Ⅲ(2K(英4))	和	E		山崎有介	2年,3年,4年	前期	火 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013002	●総合英語Ⅲ(2L5)	和	E	評	藤内則光	2年,3年,4年	前期	木 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013003	●総合英語Ⅲ(2P2)	和	E		山口敦子	2年,3年,4年	前期	木 2	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013004	●総合英語Ⅲ(2E(英1))	和	E		上村俊彦	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013005	●総合英語Ⅲ(2E(英3))	和	E		山田健太郎	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013006	●総合英語Ⅲ(2T(英4))	和	E	評	井石哲也	2年,3年,4年	前期	月 2	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013007	●総合英語Ⅲ(2K(英2))	和	E		川島浩勝	2年,3年,4年	前期	火 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013008	●総合英語Ⅲ(2T(英5))	和	E		香川実成	2年,3年,4年	前期	月 2	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013009	●総合英語Ⅲ(2K(英3))	和	E		大坪有実	2年,3年,4年	前期	火 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013010	●総合英語Ⅲ(2F(英3))	和	E		大坪有実	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013011	●総合英語Ⅲ(2F(英2))	和	E		濱崎大	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目										

ラバス（教養教育科目）	養教育 英 語科目	20130590013012	●総合英語Ⅲ(2E(英4))	和	E		藤本 ゆかり	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013013	●総合英語Ⅲ(2T(英3))	和	E		ローン 悦子	2年,3年,4年	前期	月 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013014	●総合英語Ⅲ(2K(英1))	和	E		稲田 俊 明	2年,3年,4年	前期	火 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013015	●総合英語Ⅲ(2T(英2))	和	E		廣江 顕	2年,3年,4年	前期	月 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013016	●総合英語Ⅲ(2F(英1))	和	E		石松 惇	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013017	●総合英語Ⅲ(2L6)	和	E		西原 俊 明	2年,3年,4年	前期	木 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013018	●総合英語Ⅲ(2T(英1))	和	E		小笠原 真司	2年,3年,4年	前期	月 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013019	●総合英語Ⅲ(2L4)	和	E	評	松元 浩 一	2年,3年,4年	前期	木 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013020	●総合英語Ⅲ(2E(英2))	和	E		隈上 麻 衣	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013021	●総合英語Ⅲ(2M4)	和	E		山崎 有介	2年,3年,4年	後期	火 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013022	●総合英語Ⅲ(2P1)	和	E		山口 敦子	2年,3年,4年	後期	木 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013023	●総合英語Ⅲ(2L1)	和	E		古場 なおみ	2年,3年,4年	後期	木 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013024	●総合英語Ⅲ(2E(英7))	和	E		山田 健太郎	2年,3年,4年	後期	金 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013025	●総合英語Ⅲ(2M6)	和	E		川島 浩勝	2年,3年,4年	後期	火 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英 語科目	20130590013026	●総合英語Ⅲ(2T(英8))	和	E		香川 実成	2年,3年,4年	後期	月 1	～

目)	語科目										
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013027	●総合英語Ⅲ(2T(英6))	和	E		濱崎大	2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013028	●総合英語Ⅲ(2E(英5))	和	E		濱崎大	2年,3年,4年	後期	金 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013029	●総合英語Ⅲ(2T(英9))	和	E		藤本 ゆかり	2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013030	●総合英語Ⅲ(2E(英8))	和	E		藤本 ゆかり	2年,3年,4年	後期	金 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013031	●総合英語Ⅲ(2T(英10))	和	E		西原 真弓	2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013032	●総合英語Ⅲ(2T(英7))	和	E		ローン悦子	2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013033	●総合英語Ⅲ(2E(英6))	和	E		宇佐美 康子	2年,3年,4年	後期	金 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013034	●総合英語Ⅲ(2M2)	和	E		廣江 顕	2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013035	●総合英語Ⅲ(2M3)	和	E		奥田 阿子	2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013036	●総合英語Ⅲ(2L3)	和	E		奥田 阿子	2年,3年,4年	後期	木 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013037	●総合英語Ⅲ(2M1)	和	E		西原 俊明	2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013038	●総合英語Ⅲ(2D1・2)	和	E		西原 俊明	2年,3年,4年	後期	月 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013039	●総合英語Ⅲ(2M5)	和	E		西原 俊明	2年,3年,4年	後期	火 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 英語科目	20130590013040	●総合英語Ⅲ(2L2)	和	E		隈上 麻衣	2年,3年,4年	後期	木 2	～



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013001	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英4))		
編集担当教員	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 有介		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-15		
対象学生（クラス等）	(2K (英4))		
担当教員Eメールアドレス	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	日常生活上の出来事や文学作品上のフィクションを通じて、様々な英語の表現を培ってほしい。エッセイの内容把握力・語彙力・文法力・作文力を育みたい。		
授業方法（学習指導法）	語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。		
授業到達目標	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで発音の向上を目指し、英語による表現力を豊かにしたい。 TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業内容	毎回一つずつChapterを進む。Reading → Vocabulary → Comprehension → Grammar → Writing → Quiz → Quote の流れで行う。		
	回	内容	
	1	Orientation & Introduction	
	2	Chapter 1: Harry Potter and Chocolate Frogs Grammar: It の用法	
	3	Chapter 2: Peter Rabbit and Pie Grammar: 品詞	
	4	Chapter 3: Mrs. Rabbit and Herb Tea Grammar: 分詞構文	
	5	Chapter 4: Winnie-the-Pooh and Honey Grammar: 使役動詞	
	6	Chapter 5: Daddy-Long-Legs and Ice Cream Grammar: 接続詞	
	7	Chapter 6: Kenji Miyazawa and Tomatoes Grammar: 否定	
	8	前半のまとめ（筆記試験を含む）	
	9	Chapter 7: O. Henry and "Witches' Loves" Grammar: 比較	
	10	Chapter 8: The Old Man and Fish Grammar: 完了形	

	11	Chapter 9: East of Eden and Lettus Grammar: 動名詞
	12	Chapter 10: Laura and Cheese-Making on the Prairie Grammar: 仮定法
	13	G-TELP実施
	14	Chapter 11: Breakfast and Tiffany's Grammar: 関係詞
	15	Chapter 12: "Mujina" and "Soba" Grammar: 不定詞
	16	後半のまとめ(定期試験を含む)
キーワード	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary	
教科書・教材・参考書	A Taste of English: Food and Fiction (Asahi Press)	
成績評価の方法・基準等	中間試験30%、定期試験30%、G-TELPテスト20%、 課外学習のe-learning20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013002	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L5)		
編集担当教員	藤内 則光		
授業担当教員名(科目責任者)	藤内 則光		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤内 則光		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(2L5)		
担当教員Eメールアドレス	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤控室		
担当教員TEL	095-840-2000 (Ext 335)		
担当教員オフィスアワー	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業のねらい	この授業では、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行い、テキストと音声の調和のとれた処理能力の獲得によって、受講生の英語力を向上させる。 また、この授業ではプロの教師の心構えも身につけていただきたい。		
授業方法（学習指導法）	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業到達目標	TOEIC500程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
授業内容	教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業は難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時		
	回	内容	
	1	4/11 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認	
	2	4/18 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ	
	3	4/25 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1 課、新章へ	
	4	5/2 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1 課、新章へ	

	5	5/29 副教材 Unit 5、主教材 教科書 1 課、新章へ
	6	5/16 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1 課、新章へ
	7	5/23 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ
	8	5/30 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ
	9	6/6 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ
	10	6/13 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ
	11	6/20 副教材 Unit 12、主教材 教科書 1 課、新章へ
	12	6/27 G-TELPテスト
	13	7/4 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ
	14	7/11 副教材 Unit 14、主教材 教科書 1 課、新章へ
	15	7/25 副教材 Unit 21、主教材 教科書 1 課
	16	8/1 定期試験 90分、提出物最終締め切り
キーワード		
教科書・教材・参考書	主教材：What's on Japan 7(金星堂) 副教材：Campus Listening(成美堂)	
成績評価の方法・基準等	全て主教材より 定期試験40%(単語理解8%・、内容理解22%、課題英作文 10% (部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) G-TELPテスト 20%、 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外 学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	実際に英語の実力を付けることで教科書の内容を理解させるのが目的なので、授業の予復習を しない学生の単位成立を保証しない。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013003	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2P2)		
編集担当教員	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	(2P2)		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	授業終了時		
授業のねらい	世界情勢や文化、身近な問題まで幅広い内容を伝える海外のニュース番組を題材に、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能をバランスよく伸ばす。また国際的な社会問題に触れることにより、視野の拡大に繋げる。		
授業方法（学習指導法）	イギリスの代表的なニュース番組であるBBCニュースのビデオ教材を視聴しながらリスニング練習と和訳や演習問題による内容把握を行う。文法の上で重要な英語構文は重点的に説明する。最後にニュースの要旨を作成する。付属のDVDでの予習を前提とする。		
授業到達目標	ニュース英語のリズムや速度に慣れ、リスニング力を向上させる。文法的に重要な構文、社会問題の観点から重要なキーワードを確認しながら、ニュースの内容を大まかに把握することができるようになる。		
授業内容	テキストの各ユニットの中から学生にとって興味深い内容を持つニュースを扱う。毎回テキスト付属のDVDでニュースクリップを視聴し、リスニング問題の予習をしておく。授業でニュースクリップを視聴しながらリスニング問題の解答を確認する。ニュースの本文を完成させ、文法事項や表現、単語を確認しながら、内容把握を行う。次にニュースに使われた重要な単語と5W1Hに関する問題演習を行うことで細部の理解を目指す。最後はニュースの要約文を完成させる。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	Pandas from China Visit Edinburgh Zoo: リスニング演習と内容把握	
	3	Pandas from China Visit Edinburgh Zoo: 総合問題演習と要約文の完成	
	4	Drive for Healthier Lunchboxes: リスニング演習と内容把握	
	5	Drive for Healthier Lunchboxes: 総合問題演習と要約文の完成	
	6	The Best Place in Britain to Grow Up: リスニング演習と内容把握	

	7	The Best Place in Britain to Grow Up: 総合問題演習と要約文の完成
	8	Animal Rights Threaten Medical Research: リスニング演習と内容把握
	9	Animal Rights Threaten Medical Research: 総合問題演習と要約文の完成
	10	Addiction to Smartphones: リスニング演習と内容把握
	11	Addiction to Smartphones: 総合問題演習と要約文の完成
	12	The Future of Television: リスニング演習と内容把握, 総合問題演習と要約文の完成
	13	G-TELPテスト
	14	Turbines for Tidal Power: リスニング演習と内容把握
	15	Turbines for Tidal Power: 総合問題演習と要約文の完成
	16	定期試験
キーワード	ニュース英語	
教科書・教材・参考書	Understanding the News in English 10 (『DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える』) 金星堂	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況(発表) 10% 定期試験 50%、 G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件(履修条件)	毎回予習して授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013004	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英1))		
編集担当教員	上村 俊彦		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	(2E (英1))		
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後に授業を実施している教室で受付けます。		
授業のねらい	BBC放送が提供したカレントな英語教材を活用した授業展開をおこなうとともに、課外の自立学習の支援をおこなう。		
授業方法（学習指導法）	英文テキストのコンテンツに対応した音声教材（配布予定）、テキスト付属のDVDを活用した音読、多読に関する演習をおこなう。毎回、前週学習のコンテンツに関するDictationQuizをおこなう。		
授業到達目標	英文テキスト教材（CEF B1レベル〜）を用いて、大学生として求められる英語能力（Reading/Listening/ Speaking/ Writing Skills)の習熟をはかる。		
	回	内容	
	1	orientation (クラス学習と課外学習について、英語テキストの多読とshadowingについて)	
	2	Unit 1 Identity DVD Seconf Life	
	3	Unit 1 Listening Activity Unit 2 Tales DVD Hustle	
	4	Unit 2 Listening Activity Unit 3 Contact DVD Virtual Revolution	
	5	Unit 3 Listening Activity Unit 4 Jobs DVD Gavin and Stacey	
	6	Unit 4 Listening Activity Mid-term Quiz	

授業内容	7	Unit 5 Solution DVD Top Gear
	8	Unit 5 Listening Activity Unit 6 Emotion DVD My Worst Week
	9	Unit 6 Listening Activity Unit 7 Success DVD Water Ski Challenge
	10	Unit 7 Listening Activity Unit 8 Communities DVD Tribe
	11	Unit 8 Listening Activity Unit 9 History DVD Michelangelo
	12	Unit 9 Listening Activity Unit 10 World DVD Grac Melt
	13	G-TELP Test
	14	Vocabulary Bank DVD Review (Unit 1 - Unit 5)
	15	Communication Bank DVD Review (Unit 6 - Unit 10)
	16	Language Bank (Grammar & Vocabulary Review)
キーワード	4 skills, Graded Readers, Shadowing	
教科書・教材・参考書	Clare, A. & Wilson, J (2011) Speak Out Intermediate Pearson Longman	
成績評価の方法・基準等	クラス学習 60% (中間・期末テスト、出席状況を考慮) G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%)	
受講要件 (履修条件)	毎回、音声教材を用いた自習をしてくること	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)	http://www.pearsonlongman.com/speakout	
備考 (準備学習等)	第1回目に、音声録音用にblankのUSB (4GB)を持参すること。前回学習分のリスニング部を復習しておくこと	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013005	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英3))		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	(2E (英3))		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を総合的に向上させることをめざす。		
授業方法（学習指導法）	具体的には、英文学習雑誌English-Plus の中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別にTOEICの練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。課外学習（3 Step CALLとPowerwords）も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業到達目標	TOEIC500点以上の英語力		
授業内容	英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC対策テキストを数ページする。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）	
	2	エッセイ 1 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 1, 2	
	3	エッセイ 2 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 3, 4	
	4	エッセイ 3 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8	
	5	エッセイ 4 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 9, 10	
	6	エッセイ 5 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 11, 12	
	7	エッセイ 6 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 13, 14	
	8	中間テスト、TOEIC対策テキスト Drill 15, 16	
	9	エッセイ 7 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20	
	10	エッセイ 8 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 21, 22	

	<table><tr><td>11</td><td>エッセイ 9 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24</td></tr><tr><td>12</td><td>エッセイ 10 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26</td></tr><tr><td>13</td><td>G-TELPテスト</td></tr><tr><td>14</td><td>エッセイ 11 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28</td></tr><tr><td>15</td><td>エッセイ 12 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30</td></tr><tr><td>16</td><td>定期試験</td></tr></table>	11	エッセイ 9 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24	12	エッセイ 10 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26	13	G-TELPテスト	14	エッセイ 11 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28	15	エッセイ 12 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30	16	定期試験
11	エッセイ 9 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24												
12	エッセイ 10 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26												
13	G-TELPテスト												
14	エッセイ 11 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28												
15	エッセイ 12 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30												
16	定期試験												
キーワード	多読多聴、ことばの認識を柔らかに												
教科書・教材・参考書	English-Plus （採用ナンバーは後日決定する） David E. Bramley/中井弘一 『New Steps to Success in the TOEIC Test Grammar & Reading』 松柏社												
成績評価の方法・基準等	定期試験35%、中間テスト10%、積極的な授業への参加度15%。G-TELP試験スコア20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、Powerwords 10%)												
受講要件（履修条件）													
本科目の位置づけ													
学習・教育目標													
備考（URL）													
備考（準備学習等）													





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013006	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英4))		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-15		
対象学生（クラス等）	(2T (英4))		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	授業前後に授業を実施している教室で受付けます。		
授業のねらい	英語読解力養成と聞き取り（イギリス英語の会話表現等）、イギリス文化理解		
授業方法（学習指導法）	使用テキストの英文（400語前後）を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。		
授業到達目標	英語力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法（第1章をサンプルとして）と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、13回目の授業でG-TELP（共通テスト）を実施し、結果を評価の一部にあてる。		
	回	内容	
	1	導入・テキスト: The UK in the World Today	
	2	The Royal Family	
	3	British Politics	
	4	British University	
	5	The Suburbs of London	
	6	British Food	
	7	British Literature	
	8	British Arts	
	9	TV in Britain	
	10	Earthquake in Britain	

	11	Nuclear Power in Britain
	12	The Titanic
	13	G-Telp 実施日
	14	James Bond
	15	Mysterious Britain
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Jonathan Lynch, A Fresh Look at Britain (Seibido, 2013)	
成績評価の方法・基準等	定期試験50点、G-TELP20点、授業における発表等10%、課外学習のe-learning 20点の配点とする。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013007	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英2))		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(2K (英2))		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000 (内線334)		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	「総合英語Ⅱ」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるバランスのとれた情報処理能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1) 様々なジャンルの口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) 語彙力のアップ、3) リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解(リーディング) ができるようになる、である。		
	回	内容	
	1	授業方針の説明・英語力診断テスト	
	2	多聴プログラム1(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング1	
	3	多聴プログラム2(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング2	
	4	多聴プログラム3(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング3	
	5	多聴プログラム4(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング4	
		多聴プログラム5(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニ	

授業内容	6	ング5
	7	多聴プログラム6(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング6
	8	これまでの授業のまとめ
	9	速読/精読プログラム1(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング1
	10	速読/精読プログラム2(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング2
	11	速読/精読プログラム3(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング3
	12	速読/精読プログラム4(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング4
	13	速読/精読プログラム5(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング5
	14	G-T E L P
	15	速読/精読プログラム6(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング6
	16	学期末試験
キーワード	多聴、多読、速読、精読、語彙、文、談話	
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。	
成績評価の方法・基準等	G-TELP 20%・E-Learning 20%・レポート15%・小テスト&提出物30%・期末試験15%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013008	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英5))		
編集担当教員	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者)	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	香川 実成		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	(2T (英5))		
担当教員Eメールアドレス	jissei@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	09043429702		
担当教員オフィスアワー	月曜日12:00～12:30 非常勤講師控室		
授業のねらい	背景スキーマの理解についての負担を軽減するため、身近な最新トピックに関する英文を授業マテリアルとします。これらの英文を「読み」、「聞く」作業を通して、読解、聴解、語彙力強化をおこない、基本的な英語コミュニケーション能力を向上させることを目標とします。		
授業方法（学習指導法）	1 回目の授業で配布する授業計画表に基づく予習を前提とし、演習形式で授業を進めます。		
授業到達目標	①基本語彙については「音」、「意味・語法」、「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの構造理解にとどまらず、パラグラフ内、パラグラフ間の論理関係にも意識を向けることを目標とします。		
授業内容	毎回、教科書各ユニットのパッセージを材料として、そこで用いられている語彙や文法の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング、及びリスニング・アクティビティをおこなう。毎回、次週内容の予習と前週内容の復習を兼ねた小テストをおこなう。		
	回	内容	
	1	授業概要と授業計画の説明 Unit 01 Sports: The Dreams of Nadeshiko Japan	
	2	Unit 02 Education: Dance! Dance! Dance!	
	3	Unit 03 Science: The Fastest Human in the World	
	4	Unit 04 Architecture: TOKYO SKYTREE(R)- A New Japanese Landmark	
	5	Unit 05 Energy: The Future of Energy - It's Our Choice	
	6	Unit 06 Culture: Manga and Anime Reach out to the World	
	7	Unit 07 Food: Sweets Make People Smile	
	8	Unit 08 Technology: Mobile Evolution - From Shoulder Phone to Smartphone	
	9	Unit 09 Entertainment: Shine in Your Own Way	

	10	Unit 10 Country: See You in the UK
	11	Unit 11 Person: Stay Hungry, Stay Foolish
	12	Unit 12 World: Is There Enough Food for Everyone?
	13	共通テストG-TELP
	14	Unit 13 Economy: How Does "Endaka" Affect Us?
	15	Unit 14 Philosophy: The Most Popular Philosophy Class in the World
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Muroi Michiko 『Tomorrow 読んで考える最新トピック15』 （2012年10月）ピアソン桐原	
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、授業中の活動（小テスト含む）20%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL 10%、PowerWords 10%）課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業で説明します。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013009	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英3))		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(2K (英3))		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜 12：00～12：45		
授業のねらい	授業で扱った各トピックが世の中にいかに影響を及ぼしているか理解し、自分の意見を述べられることをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	1回の授業で1chapter進む。 前半は、トピックのカギとなる単語の習得、リスニング。 後半は、健康、環境に関する英文の精読。		
授業到達目標	各トピックを読み、何が今、問題となっているのか、正確に読み取り、今後、どのようにしていけばいいのか、自分の意見を述べられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learningについて	
	2	Older is Better?	
	3	Bedtime Rules Help Children in School	
	4	Making a Beeline for Home	
	5	Reusing Pacemakers	
	6	Trees in the Desert	
	7	A Focul on Women on World No Tobacco Day	
	8	Lessons from Ancient Farmers	
	9	Laying the Roots for Healthy Teeth	
	10	Powered by Coconuts and Mangoes	
	11	More Nurses Required	

	12	Pesticides Causing Attention Deficits?
	13	G-TELP
	14	Losing Weight by Counting Calories
	15	Weeding out Weeds
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	To the Future 松柏社 ￥1,900＋税	
成績評価の方法・基準等	授業60%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	授業で発表してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス(教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013010	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2F(英3))		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生(クラス等)	(2F(英3))		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜 12:00～12:45		
授業のねらい	各トピックで、何が話題になっているか正確に読み取り、自分の意見を述べられるようにすることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	1回の授業で1Unit読む。 前半は既習文法を再確認し、英文読解。 後半は各Unitで読んだ内容に関連する自身の体験、考えを述べる。		
授業到達目標	各トピックに関連する自身の体験、自身の考えを述べるため、書く力を身につけることを目標とする。		
	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learning!について	
	2	What's So Funny?	
	3	Eureka-I Have Found It!	
	4	The Super-rich	
	5	Will You Be My Robot?	

授業内容	6	Brainpower
	7	What's Romantic Love got to do with It?
	8	Feelings...oh,oh,oh!
	9	Bad Guys
	10	A Star is Born
	11	Truth is Stranger than Fiction
	12	The Movements of Robots
	13	G-TELP
	14	Piracy
	15	Hair-Today—Gone Tomorrow
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Eureka 朝日出版社 ￥1,800+税	
成績評価の方法・基準等	授業60%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件(履修条件)	授業で発表してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013011	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2F(英2))		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(2F (英2))		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在可		
授業のねらい	Reading, Listeningに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 Listeningにおいては映画を通して、従来の教材では感じることの出来ないスピードや言い回しを見つけ、Readingは基本的な品詞をもう一度確認しながら、日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして基礎力をつけていきます。また、映画を使うことで、将来英語の必要性を再認識した時にも、効果的な勉強法を独自で考えられるようになります。		
授業方法（学習指導法）	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	ListeningやReadingを重点的に講義の中に取り入れ、日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
	授業内容（概要） Main TextのUnit内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 一本の映画を通して、English Skillをバランスよく練習できるTextです。 さらに、アメリカのPop cultureやSubcultureを学ぶ事ができ、英語を学ぶことに関心が深まるよう進行して行きます。 また、Sub Textとして用いる教科書は全体を講義でカバーする事は致しませんが、講義の中でポイントを押さえて行きますので、基本的な品詞をもう一度確認しながら、Phrase Readingを出来る“目”、対応力をつけて行きます。 Phrase Reading、Practical Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。		
	回	内容	
	1	4月5日 第1回 Introduction	
	2	4月12日 第2回 英語を知ろう: 文型と品詞	
	3	4月19日 第3回 Unit 1 The Ku Klux Klan	
	4	4月26日 第4回 Unit 2 Elvis Presley	
	5	5月10日 第5回 Unit 3 John F. Kennedy	

授業内容	6	5月17日 第6回 Unit 4 The Folk Song Movement
	7	5月24日 第7回 Unit 5 The Vietnam War
	8	5月31日 第8回 Unit 6 Vietnam War Veterans and PTSD
	9	6月7日 第9回 Unit 7 Hippies
	10	6月14日 第10回 Unit 8 John Lennon
	11	6月21日 第11回 Unit 9 Watergate
	12	6月28日 第12回 Unit 10 Apple Computer
	13	7月5日 第13回 G-TELP
	14	7月12日 第14回 Unit 11 Bicentennial Celebrations
	15	7月19日 第15回 Unit 12 AIDS
	16	7月26日 第16回 Final Examination (日程変更の可能性有)
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	American History in focus (Macmillan Languagehouse) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%	
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013012	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英4))		
編集担当教員	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	(2E (英4))		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日12時より		
授業のねらい	日本の企業に関する興味深い内容の英文を通して、経済に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、日本経済についての考えを、より深める。		
授業方法（学習指導法）	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにす。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業到達目標	日本の企業に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動（スキミング、スキニング、フレーズ・リーディング、リピーティング）を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。（テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。） また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は日本の企業を取り扱い、教科書は特色あるものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録		

のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。

回	内容	
1	4月 5日	導入・授業内容の説明
2	4月12日	Chapter 1
3	4月19日	Chapter 2
4	4月26日	Chapter 3
5	5月10日	Chapter 4
6	5月17日	Chapter 5
7	5月24日	Chapter 6
8	5月31日	Chapter 7
9	6月 7日	Chapter 8
10	6月14日	Chapter 9
11	6月21日	Chapter 10
12	6月28日	Chapter 11
13	7月 5日	G-TELPポスト・テストとまとめ
14	7月12日	Chapter 13
15	7月19日	Chapter 14
16	8月 2日	定期試験

キーワードリーディング／リスニング／英文法／英作文／日本経済

教科書・教材・参考書Leading the Way: Major Japanese Corporations（小澤健志 他： 南雲堂）英和辞典（電子辞書）を必携すること。

成績評価の方法・基準等このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト（G-TELPテスト）の結果を20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL 10%、Power Words10%）を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。

受講要件（履修条件）授業には、全回出席することを期待します。必ず予習をして臨みましょう。

本科目の位置づけリーディング・スキルと英語で表現する能力の定着と向上と、英語で表現する能力の養成を図る。

学習・教育目標総合的な英語の能力の基本を習得する。経済学への関心を益々高める。

備考（URL）

備考（準備学習等）授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013013	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英3))		
編集担当教員	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	(2T (英3))		
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業のねらい	本授業では、これまでに修得した英語の読む、書く、聞く、話す、の4技能の力を総合的に伸ばし、実践的な運用能力をさらに高めることを目標とします。特に、日本人学習者が苦手とするアウトプットの能力「話す」「書く」の向上を目指します。		
授業方法（学習指導法）	授業では、テキストをベースに英語の4技能の力をバランスよく伸ばす練習をします。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し（DVD視聴）、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。		
授業到達目標	授業を通して、英語力向上の意識を、従来の「どれくらい知っているか」の知識構築型から、「どれだけ使えるか」に変えていくことを目標とします。また洋画を英語(音声、字幕)でより理解できるようにすることを目標とします。		
	授業は、演習形式で行います(テキストは全6課からなっていますが、授業の進み具合で進度、内容設定を調節しながら進めていきます)。特に日本人が苦手とするアウトプットの能力「話す」「書く」に力を入れるために、受講生にはできる限り回答の機会を設け、ペアワーク、グループワークを通して「使える」表現の定着を図ります。スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、Readers' theaterなどの活動を通し、イントネーション、単語のつながり方（リンキング）母音の長音化などに焦点をあてて練習していきます。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価20%)。		
	回	内容	
	1	第1回 4月8日 オリエンテーション 授業の進め方Self-introduction DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	
	2	第2回 4月15日 My interests スキルの概要説明	
	3	第3回 4月22日My interests	
	4	第4回 5月13日 Descriptions	

授業内容	5	第 5回	5月20日	Descriptions Readers' theater
	6	第 6回	5月27日	Rain or shine
	7	第 7回	6月3日	Rain or shine Readers' theater
	8	第 8回	6月10日	Life at home
	9	第 9回	6月17日	Life at home
	10	第10回	6月24日	Group work for the presentation
	11	第11回	7月1日	Presentaton
	12	第12回	7月8日	Health
	13	第13回	7月22日	G-TELP
	14	第14回	7月23日	What's on TV
	15	第15回	7月29日	Review
	16	第16回	8月5日	定期試験
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション			
教科書・教材・参考書	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book A with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN: 9781107680494を使用します。 *第 1 回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。			
成績評価の方法・基準等	定期試験20%、 G-TELP20%、授業中の発表、小テスト、課題(オンラインワークブックを含む)、プレゼンテーション30%、積極的な授業への参加10%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL10%,PowerWords10%)を総合的に判断します。			
受講要件（履修条件）	教科書、英語辞典（電子辞書も可）を毎回持参、また毎回授業に出席すること（時間厳守）。 学習した内容は、きちんと復習すること！			
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。			
学習・教育目標	「使える」基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。			
備考（URL）				
備考（準備学習等）	共通英語学力テストG-TELPは、今期は13回目に行われます。G-TELP、課外学習の e-learningの詳細に関しては、第 1 回目の授業の際に説明します。 各自テキスト付属のオンラインワークブック、CD-ROM等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013014	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英1))		
編集担当教員	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	(2K (英1))		
担当教員Eメールアドレス	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター		
担当教員TEL	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー	火曜 2 限 (事前にメールで連絡すること)		
授業のねらい	① 英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 ② 課題について英語で論述する力を養う。 ③ 英文のリスニングの能力を養う。		
授業方法（学習指導法）	① 指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 ② 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業到達目標	① 英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 ② 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 ③ 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	COURSE OUTLINE（導入）：教材配布	
	2	英文速読教材 (1)	
	3	英文速読教材 (2)	
	4	Listening Comprehension Quiz (第 1 回)	
	5	英文要約教材 (1)	
	6	英文要約教材 (2)	
	7	Listening Comprehension Quiz (第 2 回)	
	8	大学新聞の英語 (1)	
	9	大学新聞の英語 (2)	
	10	Listening Comprehension Quiz (第 3 回)	
	11	英文手紙の基礎と練習	

	12	英文交渉メールの基礎と練習
	13	G-TELP (Test)
	14	課題作文練習（１）
	15	課題作文練習（２）
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教材は授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席１０％、 G-TELP ２０％ 指定する e-learning 教材 ２０％ 授業中の課題１０％、 期末テスト４０％	
受講要件（履修条件）	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	課題に能動的に取り組むことにより、英語力を伸ばし、自らの可能性を広げる。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013015	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英2))		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(2T (英2))		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業のねらい	精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになるための基礎を培う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明	
	2	Listening 1, プリント教材(1)	
	3	Listening 2, プリント教材(1)	
	4	Listening 3, プリント教材(1)	
	5	Listening 4, プリント教材(2)	
	6	Listening 5, プリント教材(2)	
	7	Listening 6, プリント教材(2)	
	8	Listening 7, プリント教材(3)	
	9	Listening 8, プリント教材(3)	
	10	Listening 9, プリント教材(3)	
	11	Listening 10, プリント教材(4)	
	12	Listening 11, プリント教材(4)	
	13	G-TELP	

	14	Listening 12, プリント教材(4)
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	総合英語Ⅰ及び総合英語Ⅱで培った英語力をさらに発展させる機会とし、（工学関係の）専門文献から基礎的なものを選び橋渡しとしたい。	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013016	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2F(英1))		
編集担当教員	石松 惇		
授業担当教員名(科目責任者)	石松 惇		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	石松 惇		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	(2F (英1))		
担当教員Eメールアドレス	a-ishima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環東シナ海環境資源研究センター		
担当教員TEL	095-850-7312		
担当教員オフィスアワー	E-mailにより受け付けます		
授業のねらい	総合英語Ⅲは、3クラスを習熟度別に分けて実施されます。このクラスは、その中で科学英語を正確に、しかも迅速に読める英語力を身につけることを目的で開講します。基礎的英文法および基本構文の知識はあるとの前提で講義を行ないます。		
授業方法（学習指導法）	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を必ず予習してきてください。		
授業到達目標	英語力が比較的ある学生を対象に、長文の科学英語を精確に読みとるための基礎力修得を目標に指導します。TOEICとの関係では正確・迅速な読解力を身につけることによってリーディング問題への対応力が身につきます。		
	水産学部総合英語Ⅲは、1年次後期総合英語Ⅱと同様に習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、1年次の成績をもとに事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。（後期英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです）。		
	本年度の講義には“Climate change implications for fisheries and aquaculture”を使います。講義に使用するのは"Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation"の部分です。151-190頁をダウンロードして、テキストとして使えるように準備しておいてください。この資料は、国連食糧農業機関（FAO）が2009年に発行していた漁業と養殖業に与える気候変動の影響に関するレポートです。文法事項などについては適宜説明します。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation Abstract	
	2	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation INTRODUCTION	
	3	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation	

授業内容		FOOD FISH PRODUCTION AND NEEDS
	4	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation FOOD FISH PRODUCTION AND NEEDS
	5	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation FOOD FISH PRODUCTION AND NEEDS
	6	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation AQUACULTURE PRODUCTION
	7	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation AQUACULTURE PRODUCTION
	8	中間試験
	9	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation BRIEF SYNTHESIS OF PREVIOUS STUDIES ON CLIMATE CHANGE EFFECTS ON AQUACULTURE AND FISHERIES
	10	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation IMPACTS OF CLIMATE CHANGE ON AQUACULTURE
	11	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation IMPACTS OF CLIMATE CHANGE ON AQUACULTURE
	12	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation IMPACTS OF CLIMATE CHANGE ON AQUACULTURE
	13	G-TELP
	14	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation IMPACTS OF CLIMATE CHANGE ON AQUACULTURE
	15	Climate change and aquaculture: potential impacts, adaptations and mitigation IMPACTS OF CLIMATE CHANGE ON AQUACULTURE
	16	定期試験
キーワード	科学英語、精読、英文法基礎	
教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）："Climate change implications for fisheries and aquaculture"は ftp://ftp.fao.org/docrep/fao/012/i0994e/i0994e.pdfでダウンロードできます。	
成績評価の方法・基準等	13回目の講義においてG-TELPを行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の 際に説明します。成績評価の方法については、以下の通りです。定期試験40%、中間試 験20%、G-TELPテスト 20%、 課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%）。	
受講要件（履修条件）	水産学部2年生の総合英語IIIは、3クラスを習熟度別に分けて実施されます。自分が受講するク ラスを、全学教育事務室の掲示等で確認してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	講義には辞書(紙版でも電子辞書でもよい)を必ず持参すること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013017	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L6)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	(2L6)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 [^] アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
	回	内容	
	1	4月4日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月11日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)と [^] アワーク(1)	
	3	4月18日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)と [^] アワーク(1)	
	4	4月25日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月2日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	
		5月9日	

授業内容	6	第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)
	7	5月16日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1)
	8	5月23日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
	9	5月30日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月6日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月13日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月20日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	6月27日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
	14	7月4日 G-TELPテスト
	15	7月11日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト C u l t u r a l E n c o u n t e r s (センゲージ)	
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
受講要件 (履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013018	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英1))		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	(2T (英1))		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法（学習指導法）	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step CALLも課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
	授業の最初には、e-learning 教材の小テストを行います。 その後、テキストを用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。 またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。 ※工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けは前もって、掲示		

にて発表します。

16回 定期試験

回	内容
	オリエンテーション
1	Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 3 Step CALLの教材
2	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) e-learning Power Words Level 5 Unit1~5 3 Step CALLの教材
3	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit6~10 3 Step CALLの教材
4	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit11~15 3 Step CALLの教材
5	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit16~20 3 Step CALLの教材
6	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit21~25 3 Step CALLの教材
7	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit26~30 3 Step CALLの教材
8	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) e-learning Power Words Level 5 Unit31~34 3 Step CALLの教材
9	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy e-learning Power Words Level 5 Unit35~38 3 Step CALLの教材
10	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit39~42 3 Step CALLの教材
11	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit43~45 3 Step CALLの教材
12	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit46~48 3 Step CALLの教材
13	G-TELP テスト
14	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning Power Words Level 5 Unit49~50 3 Step CALLの教材
15	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words 実力テスト 3 Step CALLの教材
16	定期試験

スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング

教科書（テキスト）：Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan（EIKO-SHA）（CD付）1,900円

授業内容

キーワード

教科書・教材・参考書

成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、授業中の発表10%,G-TELP 20%, e-learning 20%で行います。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013019	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L4)		
編集担当教員	松元 浩一		
授業担当教員名(科目責任者)	松元 浩一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松元 浩一		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(2L4)		
担当教員Eメールアドレス	kmat@		
担当教員研究室	教育学部本館617号室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業のねらい	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に（精読）、早く（速読）読み解くことができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し、英語による表現（英作文・英会話）にも応用できる。		
授業方法（学習指導法）	(1) 演習形式とする。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ、英文の内容を発表できるように予習する。授業ではこちらが無作為に指名するので、担当者は当てられた箇所を予習をもとに発表する。 (2) 着実に読解力をつけるために確認テストを2～3回行う。 (3) おりにふれてリスニングの訓練も行う（ただし本コースの主たる目的は読解力の養成である）。		
授業到達目標	TOEICの読解力問題で70%～80%くらいの正解を得ることができる。		
	◆読解力を高めたいのに実力がつかない、教科書の英文は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように、テキストの素材は平易・明快な小説とエッセイに、時代は19世紀と現代にしばり、注釈はもちろん、英文法ガイドも設けられている教科書を準備した。存分に読み込んで学習してもらいたい。		
	回	内容	
	1	授業の進め方、評価の説明、教科書の説明、単元Maugham, "The Romantic Young Lady" (1)	
	2	"The Romantic Young Lady" (2)	
	3	"The Romantic Young Lady" (3)	
	4	"The Romantic Young Lady" (4)	
	5	確認テスト第1回, "The Romantic Young Lady"リスニング練習	
	6	Mansfield, "The Singing Lesson" (1)	

授業内容	
	7 "The Singing Lesson" (2)
	8 "The Singing Lesson" (3)
	9 "The Singing Lesson" (4)
	10 確認テスト第2回, "The Singing Lesson"リスニング練習
	11 Orwell, "Shooting an Elephant" (1)
	12 Orwell, "Shooting an Elephant" (2)
	13 G-TELPテスト
	14 Orwell, "Shooting an Elephant" (3)
	15 Orwell, "Shooting an Elephant" (4)
	16 確認テスト第3回 (期末テスト), "Shooting an Elephant" リスニング練習
キーワード	読解力 (精読・速読) , 表現力
教科書・教材・参考書	行方昭夫・川西 進・柴田稔彦・上島建吉 (編注) College Reader for Everybody. 音羽書房鶴見書店.
成績評価の方法・基準等	(1) 授業内容に関する確認テスト第1回～3回の成績 60% (2) G-TELPテスト 20% (3) 課外学習のe-learning 20% (この点に関しては第1回目の授業時に説明する) (4) 「便覧」にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。
受講要件 (履修条件)	学生便覧を参照.
本科目の位置づけ	学生便覧を参照.
学習・教育目標	上記「授業のねらい」のとおり.
備考 (URL)	
備考 (準備学習等)	授業時には毎回英和辞書を (可能ならば英英辞書も) 持参すること.





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013020	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英2))		
編集担当教員	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者)	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	隈上 麻衣		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	(2E (英2))		
担当教員Eメールアドレス	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	月曜2限（メールでも受け付ける）		
授業のねらい	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業方法（学習指導法）	毎回小テストを実施する。授業で扱うUnitのニュースの聞き取りまたは速読をし、日本語で要約した後、精読をする。必要に応じて、重要な文法項目や語彙を用いた作文を書く。		
授業到達目標	与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Orientation, Self-introduction	
	2	Unit 1	
	3	Unit 2	
	4	Unit 3	
	5	Unit 4	
	6	Unit 5	
	7	Midterm Exam	
	8	Unit 6	
	9	Unit 7	
	10	Unit 8	
	11	Unit 9	
	12	Unit 10	

	13	G-TELP
	14	Unit 11
	15	Unit 12
	16	Final Exam
キーワード		
教科書・教材・参考書	CNN Student News, Asahi Press	
成績評価の方法・基準等	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), G-TELP (20%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013021	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M4)		
編集担当教員	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 有介		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(2M4)		
担当教員Eメールアドレス	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	英字新聞各社（The New York Times, International Herald Tribune, The Washington Post, The Associated Press, The Japan Times, Reuters, Kyodo News, AFP-JIJI）の記事を読み、英文を通じて現代社会の様々な問題に触れることで、4技能（Reading, Listening, Speaking, Writing）にわたる現代英語の運用能力を身につけてほしい。		
授業方法（学習指導法）	語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。		
授業到達目標	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで発音の向上を目指し、英語による表現力を豊かにしたい。 TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業内容	毎回1つずつUnitを進む。Before you read → Words and Phrases → Summary → Reading → Multiple Choice → True or False → Vocabulary の流れで進む。		
	回	内容	
	1	Orientation & Introduction	
	2	Unit 1: Nothing is private when it's all on Facebook	
	3	Unit 2: AKB all-girl pop group craze spurs clone spinoffs, wannabes Asia-wide With a Prison Tongue, Putting a Smile on a Nation's Aging Faces	
	4	Unit 3: New holes in European safty nets	
	5	Unit 4: Economic shoe on the other foot	
	6	Unit 5: Pakistani puzzle: Hindu daughter to Muslim bride	
	7	Unit 6: Latvian Voters Rejects Russian as a Second Language	
	8	中間のまとめ（筆記試験を含む）	

	9	Unit 7: Olympics in London
	10	Unit 8: As Myanmar Changes, So Does Its Leader
	11	Unit 9: In China, introspection over lack of compassion
	12	Unit 10: Less acclaim, more fun for Japan's Ig Nobel Prize winners
	13	Unit 11: How to deal with 7 billion people?
	14	G-TELP の実施
	15	Unit 12: 'King of kings' Gadhafi met his end in the gutter
	16	後半のまとめ（定期試験を含む）
キーワード	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary	
教科書・教材・参考書	The Half-Edition of English through the News Media (Asahi Press)	
成績評価の方法・基準等	中間試験30%、定期試験30%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013022	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2P1)		
編集担当教員	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	(2P1)		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	授業終了時		
授業のねらい	世界情勢や文化、身近な問題まで幅広い内容を伝える海外のニュース番組を題材に、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能をバランスよく伸ばす。また国際的な社会問題に触れることにより、視野の拡大に繋げる。		
授業方法（学習指導法）	イギリスの代表的なニュース番組であるBBCニュースのビデオ教材を視聴しながらリスニング練習と和訳や演習問題による内容把握を行う。文法の上で重要な英語構文は重点的に説明する。最後にニュースの要旨を作成する。付属のDVDでの予習を前提とする。		
授業到達目標	ニュース英語のリズムや速度に慣れ、リスニング力を向上させる。文法的に重要な構文、社会問題の観点から重要なキーワードを確認しながら、ニュースの内容を大まかに把握することができるようになる。		
授業内容	テキストの各ユニットの中から学生にとって興味深い内容を持つニュースを扱う。毎回テキスト付属のDVDでニュースクリップを視聴し、リスニング問題の予習をしておく。授業でニュースクリップを視聴しながらリスニング問題の解答を確認する。ニュースの本文を完成させ、文法事項や表現、単語を確認しながら、内容把握を行う。次にニュースに使われた重要な単語と5W1Hに関する問題演習を行うことで細部の理解を目指す。最後はニュースの要約文を完成させる。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	Pandas from China Visit Edinburgh Zoo: リスニング演習と内容把握	
	3	Pandas from China Visit Edinburgh Zoo: 総合問題演習と要約文の完成	
	4	Drive for Healthier Lunchboxes: リスニング演習と内容把握	
	5	Drive for Healthier Lunchboxes: 総合問題演習と要約文の完成	
	6	The Best Place in Britain to Grow Up: リスニング演習と内容把握	

	7	The Best Place in Britain to Grow Up: 総合問題演習と要約文の完成
	8	Animal Rights Threaten Medical Research: リスニング演習と内容把握
	9	Animal Rights Threaten Medical Research: 総合問題演習と要約文の完成
	10	Addiction to Smartphones: リスニング演習と内容把握
	11	Addiction to Smartphones: 総合問題演習と要約文の完成
	12	The Future of Television: リスニング演習と内容把握
	13	The Future of Television: 総合問題演習と要約文の完成
	14	G-TELPテスト
	15	Turbines for Tidal Power: リスニング演習と内容把握, 総合問題演習と要約文の完成
	16	定期試験
キーワード	ニュース英語	
教科書・教材・参考書	Understanding the News in English 10 (『DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える』) 金星堂	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況 (発表) 10% 定期試験 50%、 G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件 (履修条件)	毎回予習して授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013023	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L1)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	(2L1)		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後		
授業のねらい	(1)「食」と「文学作品」との接点を見つけてテキストにまとめられた教材を用い、語彙、内容理解、文法、作文等のエクササイズを行う。(2)文学作品に触れ、英語によるレシピも学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	テキストに従ってエクササイズを進めていく。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	A Taste of English: Food and Fiction Unit 1	
	3	A Taste of English: Food and Fiction Unit 2	
	4	A Taste of English: Food and Fiction Unit 3	
	5	A Taste of English: Food and Fiction Unit 4	
	6	A Taste of English: Food and Fiction Unit 5	
	7	A Taste of English: Food and Fiction Unit 6	
	8	A Taste of English: Food and Fiction Unit 7	
	9	A Taste of English: Food and Fiction Unit 8	
	10	A Taste of English: Food and Fiction Unit 9	
	11	A Taste of English: Food and Fiction Unit 10	
	12	A Taste of English: Food and Fiction 11	
	13	G-TELP	

	14	A Taste of English: Food and Fiction Unit 12
	15	A Taste of English: Food and Fiction Unit 13
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Leading the Way: Major Japanese Corporations (Nan'un-do)	
成績評価の方法・基準等	教員評価分 80%（定期試験 70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み 30%） G-TELP 20%, e-learningの評価 (1) 語彙力養成のために、Power Wordsの指定されたレベル の50ユニットを15週で修了すること※10%(2) 総合的英語力養成のために、3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること※10%	
受講要件（履修条件）	毎回予習をして授業に臨むこと、10回以上の出席	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	授業中に指示	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013024	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英7))		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	(2E (英7))		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を総合的に向上させることをめざす。		
授業方法（学習指導法）	具体的には、英文学習雑誌English-Plus の中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別にTOEICの練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。課外学習（3 Step CALLとPowerwords）も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業到達目標	TOEIC500点以上の英語力		
授業内容	英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC対策テキストを数ページする。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）	
	2	エッセイ 1 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 1, 2	
	3	エッセイ 2 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 3, 4	
	4	エッセイ 3 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8	
	5	エッセイ 4 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 9, 10	
	6	エッセイ 5 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 11, 12	
	7	エッセイ 6 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 13, 14	
	8	中間テスト、TOEIC対策テキスト Drill 15, 16	
	9	エッセイ 7 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20	
	10	エッセイ 8 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 21, 22	

	11 エッセイ 9 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24
	12 エッセイ 10 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26
	13 G-TELPテスト
	14 エッセイ 11 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28
	15 エッセイ 12 Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30
	16 定期試験
キーワード	多読多聴、ことばの認識をやわらかく
教科書・教材・参考書	English-Plus （採用ナンバーは後日決定する） David E. Bramley/中井弘一 『New Steps to Success in the TOEIC Test Grammar & Reading』 松柏社
成績評価の方法・基準等	定期試験35%、中間テスト10%、積極的な授業への参加度15%。G-TELP試験スコア20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、Powerwords 10%)
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013025	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M6)		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	(2M6)		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000（内線334）		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	「総合英語Ⅱ」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるバランスのとれた情報処理能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1) 様々なジャンルの口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) 語彙力のアップ、3) リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解(リーディング) ができるようになる、である。		
	回	内容	
	1	授業方針の説明・英語力診断テスト	
	2	多聴プログラム1(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング1	
	3	多聴プログラム2(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング2	
	4	多聴プログラム3(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング3	
	5	多聴プログラム4(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング4	
		多聴プログラム5(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニ	

授業内容	6	ング5
	7	多聴プログラム6(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング6
	8	これまでの授業のまとめ
	9	速読/精読プログラム1(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング1
	10	速読/精読プログラム2(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング2
	11	速読/精読プログラム3(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング3
	12	速読/精読プログラム4(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング4
	13	速読/精読プログラム5(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング5
	14	G-T E L P
	15	速読/精読プログラム6(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング6
	16	学期末試験
キーワード	多聴、多読、速読、精読、語彙、文、談話	
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。	
成績評価の方法・基準等	G-TELP20%・E-Learning 20%・レポート15%・小テスト&提出物15%・期末試験15%とする。 なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013026	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英8))		
編集担当教員	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者)	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	香川 実成		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	(2T (英8))		
担当教員Eメールアドレス	jissei@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	09043429702		
担当教員オフィスアワー	月曜日12:00～12:30 非常勤講師控室		
授業のねらい	世界中のさまざまなトピックに関する英文を授業マテリアルとします。これらの英文を「読み」、「聴き」、またそれらについて「書く」作業を中心にして、読解、聴解、語彙力・表現力強化をおこない、基本的な英語コミュニケーション能力を向上させることを目標とします。		
授業方法（学習指導法）	1回目の授業で配布する授業計画表に基づく予習を前提とし、演習形式で授業を進めます。		
授業到達目標	①基本語彙については「音」、「意味・語法」、「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの構造理解にとどまらず、パラグラフ内、パラグラフ間の論理関係にも意識を向けることを目標とします。		
授業内容	毎回、教科書各ユニットのパスセージを材料として、そこで用いられている語彙や文法の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング、及びライティング・アクティビティをおこなう。毎回、次週内容の予習と前週内容の復習を兼ねた小テストをおこなう。		
	回	内容	
	1	授業概要と授業計画の説明 Unit 1: Who Is the Most Important Person from History?	
	2	Unit 2: What Are Fattening Rooms?	
	3	Unit 5: Who Reached the South Pole First?	
	4	Unit 6: What Is the Royal Flying Doctor Service?	
	5	Unit 7: What Did the Ancient Egyptians Give Us?	
	6	Unit 8: Why Is Louis Pasteur Important?	
	7	Unit 9: Who Is Sherlock Holmes?	
	8	Unit 10: What Is Happening to the World's Climate?	

	9	Unit 11: How Do Koreans Celebrate a Wedding?
	10	Unit 12: What Is a Marathon?
	11	共通テストG-TELP
	12	Unit 13: Who Is Stephen King?
	13	Unit 15: What Were Early Passenger Flights Like?
	14	Unit 17: Where Is Timbuktu?
	15	Unit 18: Where Do the Most Vegetarians Live?
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Milanda Broukal, "What a World Reading 2: Amazing Stories from Around the World" (2011, Pearson Longman)	
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、授業中の活動（小テスト含む）20%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL 10%、PowerWords 10%）課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業で説明します。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013027	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英6))		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-37		
対象学生（クラス等）	(2T (英6))		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在室中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法（学習指導法）	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。 同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	9月30日 第1回 Introduction,	
	2	10月7日 第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	10月21日 第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	10月28日 第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	11月11日 第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	11月18日 第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	11月25日 第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	

授業内容	8	12月2日 第 8 回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
	9	12月9日 第 9 回 Unit 8 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
	10	12月16日 第 1 0 回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
	11	1月6日 第 1 1 回 G-TELP
	12	1月20日 第 1 2 回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
	13	1月21日 第 1 3 回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3) (日程変更の可能性有)
	14	1月27日 第 1 4 回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856
	15	2月3日 第 1 5 回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
	16	2月10日 第 1 6 回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書（英和、和英）	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%）課外学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%	
受講要件（履修条件）	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	G-TELPテストに関する詳細は、担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013028	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英5))		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	(2E (英5))		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法（学習指導法）	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。 同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	10月4日 第1回 Introduction,	
	2	10月11日 第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	10月18日 第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	10月25日 第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	11月1日 第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	11月8日 第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	11月15日 第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	

授業内容	8	11月29日 第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
	9	12月6日 第9回 Unit 8 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
	10	12月13日 第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
	11	12月20日 第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
	12	12月27日 第12回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)
	13	1月10日 第13回 G-TELP
	14	1月23日 第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856 (日程変更の可能性有)
	15	1月24日 第15回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
	16	2月7日 第16回 Final Examination (日程変更の可能性有)
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書（英和、和英）	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%	
受講要件（履修条件）	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	G-TELPテストに関する詳細は、担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013029	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英9))		
編集担当教員	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(2T (英9))		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	月曜日 1 時より		
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業方法（学習指導法）	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。		
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し（読む・聴く）、英語で考えて英語を使う（話す・書く）能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に、様々なリーディングの活動（スキミング、スキニング、フレーズ・リーディング、リピーティング）を行う。CDを聴きながら、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。（テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。） また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は英字新聞から選ばれてきたもので、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。		

また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。

回	内容
1	9月30日 導入・授業内容の説明
2	10月 7日 Unit 1
3	10月21日 Unit 2
4	10月28日 Unit 3
5	11月11日 Unit 4
6	11月18日 Unit 5
7	11月25日 Unit 6
8	12月 2日 Unit 7
9	12月 9日 Unit 8
10	12月16日 Unit 9
11	1月 6日 G-TELPポスト・テストとまとめ
12	1月20日 Unit 10 ※ 翌日21日は、火曜日ですが月曜日の授業が行われます。
13	1月21日 Unit 11 ※ 火曜日ですが、前日に続いて月曜日の授業を行います。
14	1月27日 Unit 12
15	2月 3日 Unit 13
16	2月10日 定期試験

キーワード リーディング／リスニング／英文法／英作文／TOEIC／英字新聞／世界の出来事・環境・健康

教科書・教材・参考書 The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」 （小笠原真司 他： 南雲堂）英和辞典（電子辞書）を必携すること。

成績評価の方法・基準等 このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト（G-TELPテスト）の結果を20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL 10%、Power Words10%）を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。
また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。

受講要件（履修条件） 今年度工学部2年生の総合英語Ⅲは、習熟度別クラスに分けて実施されます。クラスが指定されますので、自分が受講するクラスを、10月初めに全学教育事務室の掲示板で確認して下さい。授業には、全回出席することを期待します。授業には必ず予習をして臨みましょう。

本科目の位置づけ リーディング・スキルの定着と向上、及び英語で表現する能力の養成を図る。

学習・教育目標 総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を高める。

備考（URL）

備考（準備学習等） 授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013030	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英8))		
編集担当教員	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(2E (英8))		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日 2時30分より		
授業のねらい	日本の企業に関する興味深い内容の英文を通して、経済に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、日本経済についての考えを、より深める。		
授業方法（学習指導法）	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業到達目標	日本の企業に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し（読む・聴く）、英語で考えて英語を使う（話す・書く）能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動（スキミング、スキニング、フレーズ・リーディング、リピーティング）を行う。CDを聴きながら、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。（テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。）また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は日本の企業を取り扱い、教科書は特色あるものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		

授業内容	回	内容	
	1	10月 4日	導入・授業内容の説明
	2	10月11日	Chapter 1
	3	10月18日	Chapter 2
	4	10月25日	Chapter 3
	5	11月 1日	Chapter 4
	6	11月 8日	Chapter 5
	7	11月15日	Chapter 6
	8	11月29日	Chapter 7
	9	12月 6日	Chapter 8
	10	12月13日	Chapter 9
	11	12月20日	Chapter 10
	12	12月27日	Chapter 11
	13	1月10日	G-TELPポスト・テストとまとめ
	14	1月23日	Chapter 13 ※ 23日は、木曜日ですが金曜日の授業が行われます。
	15	1月24日	Chapter 14 ※ 前日に続いて授業を行います。
	16	2月 7日	定期試験
キーワード	リーディング／リスニング／英文法／英作文／日本経済		
教科書・教材・参考書	Leading the Way: Major Japanese Corporations (小澤健志 他： 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL 10%、Power Words10%)を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルと英語で表現する能力の定着と向上と、英語で表現する能力の養成を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。経済学への関心を益々高める。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。。		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013031	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英10))		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	(2T (英10))		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	メールで連絡してください		
担当教員オフィスアワー	月曜授業前後 それ以外はメールで連絡してください		
授業のねらい	英語の4技能の向上をめざし、身近な話題の読み物を使い、英語の基礎力を固めていく。		
授業方法（学習指導法）	毎回、前回の復習小テストを行い、授業内で学習した単語や文法事項を定着させるよう心掛ける。予習をしてきていることを前提とし、各章の内容の理解、文法事項の確認などを行っていく。		
授業到達目標	英語で書かれた記事を読めるようになる。記事の中に出てくる単語を確実に使えるようになる。文法事項を確認し、書いたり、言ったりして自分で使えるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Unit 1 Chocolate Power	
	2	Unit 1 の復習小テスト Unit 2 An End to Malaria?	
	3	Unit 2 の復習小テスト Unit 3 Spiders in Space?	
	4	Unit 3 の復習小テスト Unit 4 Feeling Stressed or Annoyed? Talk, Don't Text!	
	5	Unit 4 の復習小テスト Unit 5 Speeding Sharks	
	6	Unit 5 の復習小テスト Unit 6 Asteroid Special Delivery	
	7	Unit 6 の復習小テスト Unit 7 "Dung Beetle" Car Powered by Poop	
	8	Unit 7 の復習小テスト Unit 8 Robot Scientist	

	9	Unit 8 の復習小テスト Unit 9 Skyscraper Farms
	10	Unit 9 の復習小テスト Unit 10 Thanks to Your Twin Brother
	11	G-TELP
	12	Unit 10 の復習小テスト Unit 11 Butterflies Find a Cure
	13	Unit 11 の復習小テスト Unit 12 Warning: Sticky Dust!
	14	Unit 12 の復習小テスト Unit 13 From the Jungles of Mount Samkos
	15	Unit 13 の復習小テスト Unit 14 The Birth of an Ocean
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	「Science for Everyone」 （金星堂）	
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、毎授業内の小テスト20%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%） 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013032	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英7))		
編集担当教員	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-27		
対象学生（クラス等）	(2T (英7))		
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業のねらい	本授業では、これまでに修得した英語の読む、書く、聞く、話す、の4技能の力を総合的に伸ばし、実践的な運用能力をさらに高めることを目標とします。特に、日本人学習者が苦手とするアウトプットの能力「話す」「書く」の向上を目指します。		
授業方法（学習指導法）	授業では、テキストをベースに英語の4技能の力をバランスよく伸ばす練習をします。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し（DVD視聴）、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。		
授業到達目標	授業を通して、英語力向上の意識を、従来の「どれくらい知っているか」の知識構築型から、「どれだけ使えるか」に変えていくことを目標とします。また洋画を英語(音声、字幕)でより理解できるようにすることを目標とします。		
	授業は、演習形式で行います(テキストは全6課からなっていますが、授業の進み具合で進度、内容設定を調節しながら進めていきます)。特に日本人が苦手とするアウトプットの能力「話す」「書く」に力を入れるために、受講生にはできる限り回答の機会を設け、ペアワーク、グループワークを通して「使える」表現の定着を図ります。スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、Readers' theaterなどの活動を通し、イントネーション、単語のつながり方(リンキング)母音の長音化などに焦点をあてて練習していきます。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価20%)。		
	回	内容	
	1	第1回 9月30日 オリエンテーション 授業の進め方Self-introduction DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	
	2	第2回 10月7日 Shopping スキルの概要説明	
	3	第3回 10月21日 Shopping, Readers' theater の練習方法の説明	
	4	第4回 10月28日 Fun in the city	

授業内容	5	第 5回	11月11日	Fun in the city, Readers' theater
	6	第 6回	11月18日	People
	7	第 7回	11月25日	People, Readers' theater
	8	第 8回	12月2日	Group work for the presentation
	9	第 9回	12月9日	Presentaton
	10	第10回	12月16日	In a restaurant
	11	第11回	1月6日	G-TELP
	12	第12回	1月20日	In a restaurant
	13	第13回	1月21日	Entertainment
	14	第14回	1月27日	Entertainment
	15	第15回	2月3日	Review
	16	第16回	2月10日	定期試験
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション			
教科書・教材・参考書	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN: 9781107649750 を使用します。 *第 1 回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。			
成績評価の方法・基準等	定期試験20%、 G-TELP20%、授業中の発表、小テスト、課題(オンラインワークブックを含む)、プレゼンテーション30%、積極的な授業への参加10%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL10%,PowerWords10%)を総合的に判断します。			
受講要件（履修条件）	教科書、英語辞典（電子辞書も可）を毎回持参、また毎回授業に出席すること（時間厳守）。 学習した内容は、きちんと復習すること！			
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指します。			
学習・教育目標	「使える」基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。			
備考（URL）				
備考（準備学習等）	共通英語学力テストG-TELPは、今期は 11 回目に行われます。G-TELP、課外学習の e-learningの詳細に関しては、第 1 回目の授業の際に説明します。 各自テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROM等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013033	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英6))		
編集担当教員	宇佐美 康子		
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	(2E (英6))		
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜日 2限から3限		
授業のねらい	今まで培ってきた一文一文を正確に読む力を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで大意が取れるようにします。同時にある点についての情報をできるだけ正確にとる練習もします。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化します。		
授業方法（学習指導法）	演習形式		
授業到達目標	TOEIC 550点程度の英文を、ある程度の速さ、ある程度の正確さで読めること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。		
	授業の最初は、英作文、さらに英単語の小テストを行います。テスト範囲は、毎回テキストから指定します。 その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を、テキストについているCDを使いながら必ず家庭で予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切です。手を抜かず努力して下さい。次に、精読する、大意をとる、必要な情報を抜き出す、などを行います。また、文法確認や英作文などを行います。テキストにある exercises を適宜利用していきます。 場合によってはプリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディングの練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
	回	内容	
	1	Lesson 1	

授業内容		What the World Needs Now
	2	Lesson 2 Young People Making a Difference
	3	Lesson 3 The Horns of a Dilemma
	4	Lesson 4 Of Nukes and Minefields
	5	Lesson 5 The World's Hottest Issue
	6	Lesson 6 Smart Roads and Cars
	7	Lesson 7 Languages Lost and Found
	8	Lesson 8 It's About Time
	9	Lesson 9 Where Would We Be Without It?
	10	Lesson 10 Virtually Better
	11	Lesson 11 It's Never Too Late
	12	Lesson 12 Good Sports
	13	G-TELPテスト
	14	Lesson 13 Global Concepts 1: People Lesson 14 Global Concepts 2: Places
	15	Lesson 15 Global Concepts 3: Trends Lesson 16 Global Concepts 4: Hope
	16	期末テスト
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Global Concepts: English for International Understanding (Nan'un-do, CD付き)	
成績評価の方法・基準等	定期試験約45%、授業への参加(小テスト含む) 約15%、G-TELPテスト 20%、 課外 学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習の e-learningに関しては第1 回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則です。教科書を購入して第一回目に臨んで下さい。第一回目から授業に入ります。	
本科目の位置づけ	英語は現在事実上、世界の第一共通言語になっています。そのため、第一線の情報を迅速に得るには、英語のスキルが必要になっています。英語の授業を、英語の実力向上に最大限役立ててください。	
学習・教育目標	英語学習を、まず楽しんでもらいたいです。 できるだけ知的興味の持てる教材を用意するよう努力しますので、学生も授業に積極的にッ参加して下さい。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。	

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013034	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M2)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	(2M2)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業のねらい	精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになるための基礎を培う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明	
	2	Listening 1, プリント教材(1)	
	3	Listening 2, プリント教材(1)	
	4	Listening 3, プリント教材(1)	
	5	Listening 4, プリント教材(2)	
	6	Listening 5, プリント教材(2)	
	7	Listening 6, プリント教材(2)	
	8	Listening 7, プリント教材(3)	
	9	Listening 8, プリント教材(3)	
	10	Listening 9, プリント教材(3)	
	11	G-TELP	
	12	Listening 10, プリント教材(4)	
	13	Listening 11, プリント教材(4)	

	14	Listening 12, プリント教材(4)
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	総合英語Ⅰ及び総合英語Ⅱで培った英語力をさらに発展させる機会とし、（医学関係の）専門文献から基礎的なものを選び橋渡しとしたい。	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013035	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M3)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	(2M3)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間：月曜日2限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	リスニング力とプレゼン力をつけることによって、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業方法（学習指導法）	この授業では、リスニング及び医学単語の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、フレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	成果発表	
	8	小テスト、グループワーク	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	

	11	G-TELP
	12	小テスト、グループワーク
	13	小テスト、グループワーク
	14	成果発表
	15	小テスト、グループワーク
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	3-Step CALL System	
成績評価の方法・基準等	・小テスト、期末試験：30% ・ビデオ撮影、シナリオの作成：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・ G-TELP：20% ・ e-learning：20% (PowerWords10%：単語の教材のレベルを1 上げること 3-Step CALL System 10%、リスニング教材の学習時間が1 5 時間を超えること	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）	http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/course/all/call/	
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013036	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L3)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	(2L3)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間：木曜日3限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業方法（学習指導法）	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、フレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	成果発表	
	8	小テスト、グループワーク	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	

	11	小テスト、グループワーク
	12	小テスト、グループワーク
	13	小テスト、グループワーク
	14	G-TELP
	15	成果発表
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	3-Step CALL System	
成績評価の方法・基準等	・小テスト、期末試験：30% ・ビデオ撮影、シナリオの作成：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP：20% ・e-learning：20% (PowerWords 10%：単語の教材のレベルを1 上げること 3-Step CALL System 10%：リスニング教材の学習時間が1 5 時間を超えること	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）	http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/course/all/call/	
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013037	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(2M1)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、発想の転換を求める英作文を行う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた歯科・医学系のauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
	回	内容	
	1	9月30日 第1回 オリエンテーション 授業で取り上げるスキル、練習方法、課題内容についての説明	
	2	10月7日 第2回 医学ニュース聞き取りと速読(1) 発想の転換(1)	
	3	10月21日 第3回 医学ニュース聞き取りと速読(2) 発想の転換(2)	
	4	10月28日 第4回 医学ニュース聞き取りと速読(3) 発想の転換(3)	
	5	11月11日 第5回 プレゼンテーション(1)と速読(4) プレゼンテーションの準備の仕方と内容	

授業内容		発想の転換(4)
	6	11月18日 第6回 プレゼンテーション(2)と速読(5) 発想の転換(5)
	7	11月25日 第7回 プレゼンテーション(3)と速読(6) 発想の転換(6)
	8	12月2日 第8回 プレゼンテーション(4)と速読(7) 発想の転換(7)
	9	12月9日 第9回 プレゼンテーション(5)と速読(8) 発想の転換(8)
	10	12月16日 第10回 グループによるディスカッション(1)と速読(9) 発想の転換(9)
	11	1月6日 第11回 G-TELP
	12	1月20日 第12回 グループによるディスカッション(2)と速読(10) 発想の転換(10)
	13	1月21日 第13回 Summary Writing (1)、Retelling (1) 速読(11)
	14	1月27日 第14回 Summary Writing (2)、Retelling (2) 速読(12)、コーパスと英語表現力(1)
	15	2月3日 第15回 コーパスと英語表現力(2)とまとめ
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	デジタル教材、プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト	
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
受講要件（履修条件）	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	正当な理由なき遅刻、欠席は認められない。Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013038	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2D1・2)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(2D1・2)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた歯科・医学系のauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
	回	内容	
	1	9月30日 第1回 オリエンテーション 授業で取り上げるスキル、練習方法、日本人学習者の弱点に関する説明とそれを克服する訓練の概要	
	2	10月7日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	10月21日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	10月28日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	11月11日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	
	6	11月18日 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)	

授業内容	7	11月25日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1)
	8	12月2日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
	9	12月9日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	12月16日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	1月6日 第11回 G-TELP
	12	1月20日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), 速読(phrase reading)
	13	1月21日 第13回テストつながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	14	1月27日 第14回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
	15	2月3日 第15回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing まとめ
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	デジタル教材、プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト	
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
受講要件（履修条件）	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	正当な理由なき遅刻、欠席は認められない。Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013039	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M5)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(2M5)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心にを行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	10月1日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月8日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1), 医者と患者の会話(1)	
	3	10月15日 第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)	
	4	10月22日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 医者と患者の会話(3)	
	5	10月29日	

授業内容		第5回	リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医者と患者の会話(4)
	6	11月5日	第6回 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5)
	7	11月12日	第7回 インフォメーションギャップによる ^ペ アワーク(1), 映画による聞き取り(1),
	8	11月19日	第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5), 速読(2)
	9	11月26日	第9回 インフォメーションギャップによる ^ペ アワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	12月3日	第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	12月11日	第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	12月17日	第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^ペ アワーク(3)
	13	12月24日	第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	14	1月7日	第14回 G-TELP
	15	1月14日	第15回 医者と患者の会話(9), 速読(6), Retelling
	16		
キーワード	医学英語、音変化、速読		
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic (センゲージラーニング)、及びプリント教材。		
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。		
受講要件 (履修条件)	毎回、復習を行うこと。		
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。		
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。		
備考 (URL)			
備考 (準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590013040	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L2)		
編集担当教員	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者)	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	隈上 麻衣		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	(2L2)		
担当教員Eメールアドレス	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜3限（メールでも受け付ける）		
授業のねらい	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業方法（学習指導法）	毎回小テストを実施する。授業で扱うUnitのニュースの聞き取りまたは速読をし、日本語で要約した後、精読をする。必要に応じて、重要な文法項目や語彙を用いた作文を書く。		
授業到達目標	与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Orientation, Self-introduction	
	2	Unit 1	
	3	Unit 2	
	4	Unit 3	
	5	Unit 4	
	6	Unit 5	
	7	Midterm Exam	
	8	Unit 6	
	9	Unit 7	
	10	Unit 8	
	11	Unit 9	
	12	Unit 10	

	13	G-TELP
	14	Unit 11
	15	Unit 12
	16	Final Exam
キーワード		
教科書・教材・参考書	TBA	
成績評価の方法・基準等	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), G-TELP (20%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		

